

R3年度 事業名	広報(広報紙等)事業
R2年度 事業名	広報(広報誌等)事業

総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	-----------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広聴課	開始年度	1955	終了年度	9999
	目的	市民に対し、生活情報、市の制度および事業などを広く知らせるとともに、市政に対する関心およびまちづくりへの参画意欲を高めることを目的とする。				
	概要	広報紙やHPに加え、Facebook、YouTube、TwitterなどのSNSも活用し、広く情報発信を行う。また、HPでの多言語化や音声サービスにより、外国人や障がい者にもわかりやすい情報提供を行う。				
	コロナ対応の取組	(R2年度)新型コロナウイルス感染症に係る注意喚起をはじめ、市民・事業所に対する支援策などの情報を通常版で発信した。また、市民・事業所に対する支援策をとりまとめた臨時号を5月8日に発行した。(R3年度)コロナ禍の状況に応じ、また、感染症対策の動向に応じ、随時、市民に広く周知すべき情報を分かりやすく発信する。				
法令根拠		実施形態	内容	市職員が広報原稿を作成し、業者が印刷を行っている。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
		広報紙通常版発行部数(部/月)	部	目標値	23,000	23,300	23,500	23,600	23,800
				実績値	23,300	23,400	23,800		
		成果指標							
		指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
		広報紙読者の割合	%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	82	87	93		
		計算根拠	アンケート	達成率	91.1	96.7	100.3		
		市HPのアクセス数	万回	目標値	-	-	-	143.5	143.5
				実績値					
		計算根拠	統計サイトの集計値(トップページのアクセス数)		達成率				
				実績値					
				ランク	B	A	A		
		前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	19,015	16,555	15,203	15,456	15,047	事業タイ	単独事業
	決算額	18,270	15,125	14,288	12,533		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	202	市政広報等発行費	15,047	15,047	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	15,047

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	1.5
	臨時・嘱託	0.4
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容  
生活情報、市の制度および事業等の提供だけでなく、歴史・伝統・文化、市民活動、めがねのまちさばえの取組みなど「ふるさと愛」の醸成につながるような情報提供を行う。

来年度へ向けて R2年度の実績  
子育て、教育、健康をはじめとした生活情報のみならず、本市の推進する施策などについても、より分かりやすい構成で情報提供を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	広聴事務
R2年度 事業名	広聴事務

総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	-----------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広聴課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民から市政に関する意見を広く伺い、その対応をする中で相互理解を深めるとともに、より市民の目線、生活者の視点に立った施策の展開を図ることを目的とする。				
	概要	郵便、市政提案箱、市長へのメール、ファックス、電話などにより間接的に意見を伺うほか、市長室での対応や市長と語り合う会の開催などにより、市民の意見を直接広聴する。				
	コロナ対応の取組	(R2年度)市長と語り合う会や各種団体との意見交換会は、例年の対面による会議を改め、Webを活用したオンライン形式で開催するなど、「3密」回避を前提に実施した。(R3年度)市長と語り合う会や各種団体との意見交換会は、オンライン形式や少人数での開催などコロナ禍に配慮した開催方法により実施する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	市民からの市政に関するご意見を直接お聴きしたり、メールやFAXなどを通して広くお聴きする。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	市長と語り合う会		回	目標値	10	10	10	-	-
				実績値	10	10	5		
	市長室、地区公民館などでの対談		回	目標値	15	15	10	-	-
				実績値	28	28	22		
	広聴事務のPR活動		回	目標値	-	-	-	10	10
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
市長と語り合う会 (Web方式を含む)		回	目標値	10	10	10	10	10	
			実績値	10	10	5			
計算 根拠			達成率	100	100	50			
			実数値						
市長室、地区公民館などでの対談 (Web方式を含む)		回	目標値	15	15	10	5	5	
			実績値	28	28	22			
計算 根拠			達成率	186.7	186.7	220			
			実数値						
				ランク	A	A	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症の影響により対面実施が制限されたため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	※ゼロ予算
	予算額	70	70	70	0	0	事業タイ	※ゼロ予算
	決算額	65	41	57	0	0	経費区分	※ゼロ予算

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1							
2							
3							
4							
5以降							
合計							0

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。(評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい				
行政が実施すべき事業か。(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。(評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。(評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ				
①必要性 評価点数の合計	14	/	16	A	

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
	今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
②事務改善 評価点数の合計		13 / 20 A

ACTION

今年度	R3方向性⇒	維持
	取組内容	コロナ禍に配慮しつつも、各地区の区長会、各種団体との意見交換を積極的に行い、市民の要望・諸課題を的確に捉え、今後の市政運営に活かしたい。
来年度へ向けて	R2年度の実績	市長と語り合う会や各種団体との意見交換会などの会議は、例年の対面による会議を改め、Webを活用したオンライン形式で開催するなど、「3密」回避を前提に実施した。
	R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題	市長と語り合う会については、まちづくりに関する建設的な意見交換の場になるよう、細かな改善要望を受けて回答する従来の方法から、細かな改善要望への回答は書面により済ませた上で意見交換を行う方法に令和3年度から改めたところである。しかしながら、必ずしもこちらの意図どおりにならない場合もあり、司会進行や雰囲気づくりなど、いかにして建設的な意見を述べていただける場にしていくのが課題である。
	実績と課題を踏まえたR4年度の変更点	(令和3年度の途中から改善対応済)市長と語る会の目的について、区長会や公民館長への事前説明に加え、当日の市長あいさつでも触れ、全出席者に対し、意図を明確に伝える。
	R4方向性⇒	維持

【提案型市民主役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):
R4年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R3年度 事業名	鯖江ブランドトップセールス事業
R2年度 事業名	鯖江ブランドトップセールス事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	秘書広聴課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	相手方からのSNS等による鯖江ブランドの情報発信を導き、本市の産業の活性化、市民の「ふるさと鯖江」への誇り・愛着の醸成を図るとともに、トップセールスの効果を期待する企業等による新たな鯖江ブランド品の創出を図ることを目的とする。				
	概要	市長等が出張する際や著名な来客者への手土産として鯖江ブランド品を積極的に用い、鯖江ブランドの良さを広く情報発信する。また、地域産業関係者に対し、広報やHP、SNS等を通じて積極的にトップセールスしている旨を周知する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 県外への出張禁止および県外からの来訪自粛を促すなど、各方面へのセールス全般を自粛した。(R3年度) コロナ禍の状況に応じ実施の可否を判断するとともに、可能な場合においても、感染防止対策を講じながらセールスを行う。				
法令 根拠		実施 形態	内容	市長等の市関係者が来客等に鯖江ブランド品(眼鏡、漆器等)を手渡す。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	セールスを行う相手先		社・団体	目標値	10	10	10	5	5
				実績値	21	16	5		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	商品アイテム数		個	目標値	7	7	7	5	5
				実績値	15	18	6		
	計算 根拠			達成率	214.3	257.1	85.7		
				実数値					
		ランク	A	A	B				
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍により各方面へのセールス全般を自粛したため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	450	450	450	450	400		事業タイ	単独事業
	決算額	421	407	399	92			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	1	211	鯖江ブランドトップセールス事業費	400	400	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	400

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	50

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **11 / 16 B**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容  
コロナ禍に配慮しつつ、状況に応じて臨機応変に実施する。また、実施に当たっては、眼鏡・繊維・漆器といったものづくり産業だけでなく、食や文化など地域資源をフル活用したトップセールスを行いたい。

来年度へ向けて R2年度の実績  
コロナ禍により各方面へのセールス全般を自粛した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	広報(丹南CATV)事業
R2年度 事業名	広報(丹南CATV)事業

総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	-----------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広聴課	開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	市民に対し、生活情報、市の制度および事業などを広く知らせるとともに、市政に対する関心およびまちづくりへの参画意欲を高めることを目的とする。				
	概要	丹南ケーブルテレビで情報番組「さばえっと情報」(映像7分、お知らせ3分)を1日3回放映し、市の事業、施策を広く情報発信する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)コロナ禍によるイベント等の中止・延期情報、感染症対策に関する情報を広く周知する番組を制作し、放映した。(R3年度)コロナ禍の状況に応じ、また、感染症対策の動向に応じ、随時、市民に広く周知すべき情報を分かりやすく発信する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	映像情報は業者に番組情報を提供し、業者が取材・編集・放送を行う。文字情報は職員が作成しており、ナレーションを委託している。		
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
行政番組年間放送日数		日	目標値	365	365	365	365	365
			実績値	365	365	365		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
ケーブルテレビ視聴率		%	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	36	37	47		
計算 根拠	アンケート	達成率	102.9	105.7	134.3			
		実数値	36/100	37/100	47/100			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,492	6,400	6,552	6,612	6,612		事業タイ	単独事業
	決算額	6,360	6,365	6,419	6,491			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	201	広報・広聴活動諸経費	15,032	6,612	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,612

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.04
	臨時・嘱託	0.04
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **13 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容  
丹南ケーブルテレビの情報番組「さばえほっと情報」(映像7分、お知らせ3分)を1日3回放映し、市の事業、施策を広く情報発信する。

来年度へ向けて R2年度の実績  
丹南ケーブルテレビの情報番組「さばえほっと情報」を年18本放映し、市の事業、施策を広く情報発信した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	広報(FMたんなん夢レディオ)事業
R2年度 事業名	広報(FMたんなん夢レディオ)事業

総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	-----------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広聴課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	市民に対し、生活情報、市の制度および事業などを広く知らせるとともに、市政に対する関心およびまちづくりへの参画意欲を高めることを目的とする。				
	概要	コミュニティFM放送で行政情報番組「鯖江わいわい通信」(20分)を1日4回放送し、市の事業、施策を広く情報発信する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)コロナ禍によるイベント等の中止・延期情報、感染症対策に関する情報を広く周知する番組を制作し、放送した。(R3年度)コロナ禍の状況に応じ、また、感染症対策の動向に応じ、随時、市民に広く周知すべき情報を分かりやすく発信する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	市は情報を提供し、業者が取材・放送を行う。		
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
コミュニティFM放送		日	目標値	365	365	365	365	365
			実績値	365	365	365		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
FM放送聴取率		%	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	23	23	36		
計算 根拠	アンケート	達成率	153.3	153.3	240.0			
		実数値	23/100	23/100	36/100			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,652	2,601	2,625	2,650	2,650		事業タイ	単独事業
	決算額	2,652	2,601	2,625	2,649			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	201	広報・広聴活動諸経費	15,032	2,650	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,650

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	臨時・嘱託	0.01
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **12 / 16 B**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容  
広報さばえの最新号の内容を中心に、適時、新型コロナウイルスに関する情報をはじめ広く市民に注意喚起すべき情報を組み込む。また、市職員や各種団体の皆さんに出演いただくなど、コミュニティFMらしい番組づくりに協力する。

R2年度の実績  
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」導入事業
R2年度 事業名	多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」導入事業

総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	-----------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広聴課	開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	情報弱者になりやすい高齢者や障がい者、外国人、また、スマホ・タブレット世代の若者など幅広い人たちに情報を伝えるとともに、ホームページ、紙媒体などと併用発信することで、多くの人の目に止まる機会を増やすことを目的とする。				
	概要	多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」を用いて、広報さばえの情報を発信する。 ・10カ国語に翻訳する機能により、情報弱者になりやすい高齢者や障がい者、外国人に分かりやすく情報を伝える。 ・アプリをダウンロードした人に対するプッシュ通知により、防災避難情報や新しいイベントの周知、広報誌の発行日などを通知する。				
	コロナ対応の取組	(R2年度) 新型コロナウイルス感染症に係る注意喚起をはじめ、市民・事業所に対する支援策などの情報を通常版で発信した。また、市民・事業所に対する支援策をとりまとめた臨時号を5月8日に発行した。(R3年度) コロナ禍の状況に応じ、また、感染症対策の動向に応じ、随時、市民に広く周知すべき情報を分かりやすく発信する。				
法令根拠		実施形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	情報掲載件数	件	目標値		15	15	15	15
			実績値		14	13		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	アクセス数	件	目標値		5,000	500	500	500
			実績値		9,184	626		
	計算根拠	「カタログ」をアプリで閲覧した人数。ただし、ログ解析を拒否している人はカウントされない。集計方法の変更により、2019年度は頁ごとの重複カウントあり、2020年度は重複カウントなしの値となっている。	達成率		183.7	125.2		
			実数値		9184/5000	626/500		
		ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額			540	495	495		事業タイ	単独事業
	決算額			486	495			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	201	広報・広聴活動諸経費	15,032	495	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	495

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.04
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **12 / 16 B**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容  
多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」を用いて、広報さばえの情報を発信する。

来年度へ向けて R2年度の実績  
多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」を用いて、広報さばえの情報を発信した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし。

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒